

日本中世英語英文学会 第30回大会プログラム

2014年12月6日(土)・7日(日)

同志社大学 (今出川キャンパス)

〒602-8580 京都市上京区今出川通烏丸東入

(大会本部：徳照館2階201号室)

Tel (代表) 075-251-3120 (開催校連絡先：秋篠憲一研究室 075-251-4014)

第1日 12月6日(土)

11:30-16:00 受付 (良心館1階103号室前)

* 会員控室 (良心館1階学生ラウンジ)

13:00-13:45 開会式・総会 (良心館1階103号室)

司会 地村彰之 (広島大学)

開会の言葉

会長 向井 毅 (福岡女子大学)

開催校挨拶

同志社大学大学院文学研究科長 圓月勝博

議事

事務局報告

事務局長 西村秀夫 (三重大学)

編集委員会報告

編集委員長 藤井香子 (大阪大学非常勤講師)

大会準備委員会報告

大会準備委員長 尾崎久男 (大阪大学)

大会案内

開催校準備委員長 秋篠憲一 (同志社大学)

14:00-17:00 シンポジウム (良心館1階103号室)

Does Spelling Matter in Pre-Standardised Middle English?

司会 堀田隆一 (中央大学)

1. Purging the Grosser Provincialisms? Spelling and Dialect
in Late Middle English

Simon Horobin (オックスフォード大学)

2. The Zero Period of Spelling Standardization: Two Contrasting
Manuscripts of Lazamon's *Brut*

新川清治 (白鷗大学)

3. Etymological Respellings on the Eve of Spelling Standardisation

堀田隆一 (中央大学)

4. A Retrograde Text as Manifestation of Authenticity?

高木眞佐子 (杏林大学)

18:00-20:00 懇親会 (京都ガーデンパレス)

第2日 12月7日(日)

9:30-11:30 受付 (良心館1階103号室前)

*会員控室 (良心館1階学生ラウンジ)

10:00-13:05 研究発表 I (良心館1階101号室)

10:00-10:40 司会 池上 昌 (慶應義塾大学名誉教授)

1. 綴り字の分布から発音の変化を探る — OE *-ht* 中の摩擦音消失を中心に
狩野晃一 (東北公益文科大学)

10:45-11:25 司会 網代 敦 (大東文化大学)

2. 古英詩 *Andreas* における「不適切な表現」
衛藤安治 (福島大学)

11:40-12:20 司会 小竹 直 (日本学術振興会特別研究員)

3. *Ælfwine's Prayerbook and the Making of an Anglo-Saxon Miscellany*
Peter Evan (成蹊大学)

12:25-13:05 司会 鈴木敬了 (大東文化大学)

4. 中世英語非人称構文・再帰構文の抵抗
小倉美知子 (慶應義塾大学)

10:00-13:05 研究発表 II (良心館1階102号室)

10:00-10:40 司会 松田隆美 (慶應義塾大学)

5. 16-17世紀に出版された『狐物語』を観察する
— Gaultier 版 (1550) と Alde 版 (1600, 1620) の比較を通して
都地沙央里 (福岡女子大学大学院)

10:45-11:25 司会 松田隆美 (慶應義塾大学)

6. ホックリーヴの社会性：死と *Series*
杉藤久志 (上智大学非常勤講師)

11:40-12:20 司会 久木田直江 (静岡大学)

7. The Monstrous Other: Hybridity and Identity in *Richard Coer de Lion*
渡辺美有依 (東京大学大学院)

12:25-13:05 司会 久木田直江 (静岡大学)

8. 失われた原典をさがして — *The Prickyng of Love* (c.1380) は
どのラテン語写本から翻訳されたのか?

井口 篤 (放送大学)

10:00-13:05 研究発表Ⅲ (良心館1階105号室)

10:00-10:40 司会 澤田真由美 (愛知学院大学)

9. *The Canterbury Tales* における “fer in the north”
— *The Reeve’s Tale* と *The Friar’s Tale* の方言的特徴とその意義
玉川明日美 (立教大学大学院)

10:45-11:25 司会 澤田真由美 (愛知学院大学)

10. 中英語後期の there 構文 — 『トロイラスとクリセイダ』を中心に
藤原保明 (聖徳大学)

11:40-12:20 司会 谷 明信 (兵庫教育大学)

11. プロトタイプ理論と *The Shewings of Julian of Norwich* における
ワードペア

青木繁博 (新潟青陵大学短期大学部)

12:25-13:05 司会 保坂道雄 (日本大学)

12. Lexical Diffusion and Neogrammarian Regularity
小倉美恵子 (鶴見大学)

10:00-13:05 研究発表Ⅳ (良心館1階103号室)

10:00-10:40 司会 菊池清明 (立教大学)

13. チョーサーの「家扶の話」と家扶の自己定義の不安
工藤義信 (慶應義塾大学非常勤講師)

10:45-11:25 司会 野地 薫 (山村学園短期大学)

14. 新たな Gawain 像を求めて
— *The Awntyrs off Arthure* における Grissell の死と Gawain の涙
貝塚泰幸 (首都大学東京非常勤講師)

11:40-12:20 **司会** 小路邦子（慶應義塾大学非常勤講師）

15. ポースの選択：*Le Morte Darthur* における騎士道の多様性

小宮真樹子（近畿大学）

12:25-13:05 **司会** 小路邦子（慶應義塾大学非常勤講師）

16. 『頭韻詩 アーサー王の死』におけるアーサー王の夢の分析

森ユキエ（同志社大学非常勤講師）

13:10-13:25 **閉会式**（良心館1階103号室）

閉会の言葉

副会長 松田隆美（慶應義塾大学）